

月刊東乳商

第512号

発行所
東京都牛乳商業組合
代表者 渡邊佳三郎
東京都千代田区神田紺屋町29
神田ISビル 〒101-0035
☎ (5295) 3721(代表)
FAX (5295) 3724

東京都牛乳商業組合 平成21年9月20日
●URL <http://www.tokyo-gyunyuuya.com> E-mail tonyusho@forest.ocn.ne.jp
毎月20日発行・定価1部150円 1年1800円(郵便料共)(昭和47年2月22日第3種郵便物認可)

乳製品販売顧客管理コンピュータシステム

市乳くん

宅配/卸・ハンディ・本支店間・LAN・EOS・顧客管理

【資料請求はこちらから】 >>>> 0120-5959-92
株式会社オシカワシステム <http://www.oskw.jp>

公立高校、自治体施設の自動販売機競争入札が増加傾向

大阪に端を発した競争入札が関東各県にも拡がる。入札結果、募集状況を調査。

昨年初めに就任した大阪府の橋下知事が導入した、府内の公共施設の自動販売機設置に際しての競争入札が、関東各県にも拡がりを見せてつつある。インターネットに掲載のあった主な入札結果は左記の通り。

設置場所	設置台数	落札金額(年)	落札者
群馬・高崎東高校	2台	867,510円	群馬ヤクルト販売(株)
〃・富岡実業高校	3台	2,181,000円	〃
〃・館林高校	2台	2,156,000円	(株)伊藤園
川崎市教育文化会館	3台	1,944,000円	公表なし
千葉県中庁舎 1~3階	7台	6,496,547円	(株)ユカ
〃 4~6階	6台	7,438,410円	キリンビバレッジ(株)

また栃木県は今年度六月の県議会において競争入札の導入を発表した。現在、県が場所を提供している自動販売機五四四台の設置場所貸付料で年間六六万円の収入があるが、群馬県、川崎市が競争入札により収入を大幅に伸ばしていること、(川崎市は一九四万台で一億五千万円の収入となる)がその背景にあり、今後他の自治体に拡大していくことが予想される。

08年度の牛乳専売店の経営動向などに 関する調査結果公表される

農林水産省の委託を受けて食品需要研究センターが昨年九月に行った調査結果が発表された。

(調査対象専売店) 九百店舗 回答数 三百三十三店舗
主な項目の結果は以下の通り。
() 内は 七年度調査結果
一 店舗の従業員数
一〇二人 五・五%(五四・四%)、三〇四人 二・三%(二五・四%)、五〇十人 一・三・六%(九・六%)、十人以上 一・三・六%(一・五)
二 経営形態
個人経営 七二・八%(七・二)、有限会社 一九・四%(二四・六%)、株式会社 七・八%(五・三%)
三 店主の平均年齢
六四・六歳(六三・歳)
四 種類別販売数量構成比
乳飲料 五・六%(四二・二%)、牛乳 四五・三%(五二・一%)、濃厚加工乳 四六・五%(四七・八%)
五 年間売上高
二、七七二万円(二、六七二万円) 年間総利益 一、四七二万円(一、七〇七万円) 営業利益 三、三〇八万円(九七・三万円)
六 粗利益率
牛乳 三五・一%(三六・三%)、低脂肪加工乳 二二・九%(二・四%)、濃厚加工乳 四六・五%(四七・八%)、乳飲料 五・六%(四九・八%)
七 年間売上高
二、七七二万円(二、六七二万円) 年間総利益 一、四七二万円(一、七〇七万円) 営業利益 三、三〇八万円(九七・三万円)
八 粗利益率
牛乳 三五・一%(三六・三%)、低脂肪加工乳 二二・九%(二・四%)、濃厚加工乳 四六・五%(四七・八%)、乳飲料 五・六%(四九・八%)
九 容器別構成比
ビン 七三・五%(六九・六%)、紙容器 二六・五%(三〇・四%)
一〇 店舗当たりの配達戸数
四六四戸(四五二戸)

21年度研修会 日程決まる

二十一年度の研修会日程が以下のようになり決まりました。みなさんとはおなじみの佐藤卓先生に講師をお願いし、「宅配販売店生き残りの道」をみなさんとの対話を通して、探りたいと考えています。地域のみなさんとの交流を深める良い機会ですので、地域の販売店さん、ご家族の方、後継者の方、従業員の方など、お誘い合わせの上、是非ご参加下さい。研修会開催のご案内は、開催一ヶ月前までに各販売店宛に発送します。

日 程	研修会場	ブロックおよび支部	
		ブロック	支部
11月21日 (土曜日)	世田谷区立玉川区民会館	城南 山手	目黒、品川、大田、港 世田谷、渋谷
3月6日 (土曜日)	中野サンプラザ	城北 城西	文京、豊島、北、板橋、練馬 新宿、中野、杉並
3月13日 (土曜日)	立川商工会議所	多摩第1~ 多摩第3	多摩地区全支部
3月20日 (土曜日)	タワーホール船堀	中央 城東	千代田、中央、江東、墨田、台東、荒川 江戸川、葛飾、足立

牛乳販売店主への 怪電話にご注意

先日、平野城北ブロック長のお店に「大阪の ジャーナルの者ですが、東京で頑張っている社長さん取材したいので、芸能人の布川敏和をインタビューに何かせます。」という電話が掛かってきたこと。平野ブロック長は取り合わなかったが、他の販売店にも同様の電話が掛かってきたという情報もあり、組合員のみなさんのお店にも掛かってくることも予想されます。是非注意するようお願いいたします。

協賛会員紹介

東乳商の協賛会員を紹介します。
株式会社オフィスミント
食品・雑貨のカタログ販売
あんしん財団
(財団法人中小企業災害補償共済福祉財団)
災害補償共済事業
業務上、業務外でのケガの補償
災害防止事業
災害防止のための設備投資、備品購入への補助
福利厚生事業
人間ドック、健康診断、宿泊施設利用への補助

詳細は協賛会員会誌発行のパンフレットをご覧ください。
または東乳商事務局へお問い合わせ下さい。

改善協版

東京都牛乳流通改善協会

都改協の収支改善の取り組みについて

21年度の会員数については722店であり、これは10年前の1、075店に比べて33%減(353店減)で大幅に縮小している状況であります。従ってその賦課金収入も大きく減額となっており、経費の削減に取り組んでいけるものの、

理由 平成20年度の当協会の収支につきましては別添の通り520千円の赤字であり21年度も更に赤字が増加するものと見込まれます。会員販売店が5年前に比べて226店減るなど販売店の減少に歯止めがかからない状態で、356千円の収入減となっております。

520千円マイナス)そこであらゆる改善を図る必要がありますが、全改協から支給されている組織運営資金が17年度に比べて25%、254千円減じられている状況から当協会としても同様に貴協会への納入会費の見直し、軽減をお願い申し上げます。以上

収支は改善されない状況であります。そこで内部の努力では限界がありこのままでは悪化の一途であるので、これの改善の為外部にも協力を得たいものと考え、(1)全改協への納付会費の軽減の要請、(2)メーカーへの賛助会費の見直しの要請を文書にておこなっているところであり、内容要旨は次の通り。
(1)全改協への納付会費の軽減の要請
「挨拶省略」21年度貴協会に納付する会費の軽減をして頂きたくお願い申し上げます。

(参考)5年間の推移

年度	店舗推移	全改協からの運営資金	都改協経費	全改協への納入会費
16年度	948店	0	7,607千円	1,176千円
17年度	948	1,066千円	7,556	1,176
18年度	866	972	7,476	1,176
19年度	815	913	7,348	1,176
20年度	766	857	7,156	1,176
21年度	722	752	未定	1,176

21年-17年 -226店
収入減 1,356千円 支出減 -451千円



注目されるミネラル・リン

リンの過剰摂取が招く

危険性と最新の代謝機構

カルシウムなど、ほかのミネラルに比べるとあまり話題になることがないリンですが、近年、骨粗鬆症などの問題をきっかけに、研究が進み、代謝の仕組みやさまざまな機能が明らかになってきました。徳島大学医学部栄養学科教授宮本賢一先生が、今年の2月10日サンケイブライザで開催されたメディアミルキセミナーで、リンの性質や疾病との関わり、摂取方法、最新の知見について話されました。その概要を紹介いたします。

リンは体内においてさまざまな働きをします。骨に含まれるリンはカルシウムとともに骨をつくり軟部組織にあるリンはエネルギーをつくり出す資源になります。また、リンは核酸(注2)や細胞膜の構成成分でもあり、糖代謝や脂肪代謝にも大きく関与していることが、最近の研究でわかってきました。

リンが含まれる食品と過剰摂取の危険性

リンは植物性食品、動物性食品など多くの食品に含まれています。成人の1日の必要量はおよそ1000mgですが、これは一般的な食生活であれば十分に摂取できる量で、不足する心配がほとんどありません。

問題となっているのは、食品添加物に多くのリンが使われている、気づかないうちに取り過ぎてしまつてことです。例えば、薄餅やハムなどの結着剤、中華麺などのアルカリ剤(かんすい)、清涼飲料などの味付けにリン化合物が使われています。

多くのインスタント食品や加工食品にリンが使用されていますが、これらは物質名での表示義務がないので、日常生活でどれだけ摂取しているかを正確に知ることができません。したがって、現代人の食生活は、リンの過剰摂取の可能性が高いといえます。

《カルシウムとリンは1対1のバランスで摂ることがベスト》

私たちのカラダには、血中リン濃度を一定に保つ厳密な調節機構が存在しており、体内のリンとカルシウムのバランスが崩れると、副甲状腺ホルモンが出て、余分なリンを排出するよう機能します。リンを過剰摂取することによって副甲状腺ホルモンの分泌が乱れると、結果として病気になるのです。私たちのカラダは個々の栄養素を認知しているわけではありません。カラダを調節するホルモンが栄養素のバランスに反応して、安定を保っているのです。

リンはカラダに必須のミネラルではありませんが、過剰摂取は病気のもとに。カルシウムの吸収阻害による骨粗鬆症や、腎臓の機能低下による慢性腎臓病、腎結石、異所性石灰化(注3)などの原因になります。

1対1と理想的な牛乳

リンの摂取を考える時は、カルシウムとの摂取バランスに気をつけることが大切です。現代の食生活では、カルシウムは不足しがちで、リンは摂り過ぎの傾向にあります。ですから、リンに対してカルシウムの摂取量を増やすことが必要です。

カルシウムの含有量が多い食品としては、牛乳やチーズなどの乳製品、ワカサギやイワシなどの小魚、豆腐やモロヘイヤなどがあります。食事から摂取するカルシウムとリンの割合は1対1がよいと考えられています。牛乳中の割合は、100g中、カルシウムが110mgに対しリンは93mgとほぼ1対1ですから、理想的な食品といえます。

また、牛乳のリンはタンパク質と結びついた有機リン化合物なので、添加物など無機リン化合物に比べ、体内にゆっくりと吸収されます。こうしたことも、リンの過剰摂取につながらない利点といえるでしょう。

骨が成長する小児期においても牛乳・乳製品は、カルシウムとリンをバランスよく健康的に摂取できる、優れた食品なのです。

《体中のいたるところに存在し、多くの機能をもつリン》

リンはカルシウムの次に体内に多く存在するミネラルです。体内でのカルシウムとリンの割合はおおよそ2対1といわれています。一般的な体内の総リン量は体重の1%で、体重70kgの男性の場合、約700gのリンがあることとなります。そのうち、85%は骨に14%は軟部組織(注1)に含まれます。一方、カルシウムは99%が骨に存在します。両方とも骨をつくる大切な成分」という点では同じですが、カルシウムと違って、リンは私たちのカラダ中のいたるところにあるのが特徴です。

リンはカラダに必須のミネラルではありませんが、過剰摂取は病気のもとに。カルシウムの吸収阻害による骨粗鬆症や、腎臓の機能低下による慢性腎臓病、腎結石、異所性石灰化(注3)などの原因になります。

1対1と理想的な牛乳

リンの摂取を考える時は、カルシウムとの摂取バランスに気をつけることが大切です。現代の食生活では、カルシウムは不足しがちで、リンは摂り過ぎの傾向にあります。ですから、リンに対してカルシウムの摂取量を増やすことが必要です。

カルシウムの含有量が多い食品としては、牛乳やチーズなどの乳製品、ワカサギやイワシなどの小魚、豆腐やモロヘイヤなどがあります。食事から摂取するカルシウムとリンの割合は1対1がよいと考えられています。牛乳中の割合は、100g中、カルシウムが110mgに対しリンは93mgとほぼ1対1ですから、理想的な食品といえます。

また、牛乳のリンはタンパク質と結びついた有機リン化合物なので、添加物など無機リン化合物に比べ、体内にゆっくりと吸収されます。こうしたことも、リンの過剰摂取につながらない利点といえるでしょう。

骨が成長する小児期においても牛乳・乳製品は、カルシウムとリンをバランスよく健康的に摂取できる、優れた食品なのです。



(「Jミルク資料より」)